

おおたわら 社協だより

ふれあいネットワーク

12

Ohtawara Shakyo Dayori

発行所 大田原市浅香3-3578-17
大田原市福祉センター内
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 平成28年12月1日
印刷所 (株)エヌ・シー・シー

(第201号)



わたしたちも、地域で支え合っ一人です



災害が起こったら、あなたならどうする？ 佐久山中学校 ～ 災害と助け合い～



被害を想定して地図に書き込もう！



地震直後の映像を見て、みんなビックリ！

学童生徒のボランティア活動推進 (小地域で考える福祉教育推進)モデル事業

ふくし共育では、子どもたちが地域に暮らす人々と助け合い、ともに生きることを目指しています。
そこで佐久山地区と紫塚地区で、学校・児童生徒と地域がつながり、一緒に地域の課題を学び解決に向かう取り組みを実施しました。

認知症にやさしい地域を考えよう！ IN紫塚 紫塚小学校



地域の人と仲良くなろう～自己紹介～



自分たちにできることを、みんなで作りました

小・中学生が、地区社会福祉協議会や見守り隊など 地域の方と一緒に考えました。

**自分が暮らす地域には
どんな方が暮らして
いるのだろうか？**

佐久山中学校 10月17日

とちぎボランティアネットワーク事務局長 矢野正広氏を講師に、全校生が参加し、大田原市で震度6強の地震が発生した想定で災害図上訓練を行いました。災害が発生したとき、佐久山地区はどんな状況になるのか、支援が必要な人はどこにいるのかなど地図を用いて話し合い、災害時にも助け合える地域づくりについて考えました。

ふりかえりシートから

- **佐久山地区をどんな地域にしたいですか？**
 - ・災害が起きても、みんなで協力しあえる地域(生徒)
- **日頃から、自分でできることは？**
 - ・地域の人とのふれあい(生徒)
 - ・危険な場所、安全な場所を確認しておく。(地域の方)
- **日頃から、みんなで協力してできることは？**
 - ・日頃から、あいさつをする。コミュニケーションをとる。(生徒)
 - ・災害が起きたらどうするかを話し合っておく。(地域の方)

**どんな課題があるの
だろう？ 私たちにできる
ことはあるかな？**

紫塚小学校 10月25日

認知症の方が心地よく地域で生活することができるように、認知症の方との接し方を考えました。実際にかかわった体験談をご家族の方に話していただき、自分たちにはどんなことができるか、認知症にやさしい地域についてグループで話し合いました。

児童の感想

- ・やさしく接することで、おたがい良い気持ちになることが分かった。
- ・おじいちゃんおばあちゃんに笑顔であいさつをしたい。
- ・地域の方と一緒に話すことができたので、認知症の人がいたら一緒に支えていけると思う。

地域の方の感想

- ・児童は認知症についてよく理解しており、児童と一緒に地域で見守っていくことの大切さが分かった。



赤い羽根共同募金にご協力お願いしまあ～す！



大田原中学校生徒のみなさん



湯津上中学校生徒のみなさん

大田原中学校、湯津上中学校の生徒のみなさんが、地域の方と一緒に店頭やイベントで募金の協力を呼びかけました。

● **問合せ先**
市社協
☎ (23) 1130

● **相談時間**
午前8時30分～午後5時15分
※土・日・祝日を除く

● **軽にご相談ください。**
お一人で問題を抱え込まず、お気軽にご相談ください。

● **相談無料。秘密は守られます。**

生活の不安、問題、悩みを一緒に考え解決に向けて支援します

生活困窮者自立支援事業

働きたくても働くことができない、住むところがない、社会とのつながりがなく孤独等、日常生活の中の困りごとを、専門の相談員がお話を聴き、一人一人の状況に応じて、継続的な支援が必要と判断した場合には、解決に向けたプランを作成します。

目次

P1	学童・生徒のボランティア活動普及事業モデル事業(ふくし共育)
P2	赤い羽根街頭募金・モデル事業P1の説明・生活困窮者自立支援事業
P3	寄付報告・全国社会福祉大会表彰社協会会員費追加・各種受賞
P4~5	各地区事業報告
P6	福祉ふれあいまつり・あすてらす心配ごと相談・市社協の主な予定
裏面P1~2	ボランティア情報紙「だいすき」ボランティア紹介 ぼくらのまちのウォークラリー報告

寄付報告

平成28年9月16日から11月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

◆大田原市社会福祉協議会寄付

- ♥大田原市ゴルフのまちづくり実行委員会 様……51,000円
- ♥益子 喜一 様……5,000円
- ♥永岡 久明 様……1,000円
- ♥佐藤 フミ 様……10,000円
- ♥湯津上商工会女性部 様……10,000円
- ♥黒羽商工会女性部 様……7,597円

◆大田原市善意銀行寄付

- ♥栗原 敏子 様(433・434回) ……60,000 円

◆大田原市地域福祉基金寄付

- ♥紫塚地区社会福祉協議会 様……20,000円



大田原市ゴルフのまちづくり実行委員会津久井富雄会長よりご寄付をいただきました。

会員の皆様が地域の福祉を支えています

今年度も多くの皆様に会員としてご加入いただきありがとうございます。

集まりました会費は、「誰もが安心して暮らせる福祉のまち おおたわら」を目指して、市内での様々な地域福祉活動に活用させていただきます。

今後とも、市社協の活動にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

【特別会費】…790会員 1,038,000円
 【賛助会費】… 32会員 160,000円
 (平成28年10月31日現在)

賛助会費：【1口】5,000円
 かりいほ

特別会費：【1口】1,000円
 (有)ヤマトヤ洋品店
 (株)ゴルフ倶楽部ゴールデンウッド
 清水自動車
 那須黒羽ゴルフクラブ
 (有)藤田自動車整備工場
 (有)緑川工務店
 数藤 孝 (敬称略)

平成28年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰受賞者のご紹介

11月11日メルパルクホール(東京都)において全国社会福祉大会が開催されました。大会において、社会福祉活動に顕著な活動を修められた次の団体が表彰されました。

日頃から地域福祉のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

地域の高齢者福祉を考える会 ぶらんこの会 様
 地域の虚弱高齢者対策としての居場所提供等を行い、永年、地域福祉のために多大な貢献をされています。

第41回地域安全県民の集い表彰

10月18日、地域安全県民のつどいにおいて、地域の見守り活動に対する功労が認められ「佐久山おもいやり隊」が功労ボランティア団体として栃木県警察本部長、栃木県防犯協会長から表彰されました。受賞おめでとうございます。

フードバンクを「存じ」ですか？

フードバンクとは、食料銀行を意味する福祉活動の事です。まだ食べられるのに様々な理由で廃棄されてしまう食品や缶詰など、食べないで眠らせているものなどを、その日食べるものもなく困っている方や施設につなぎ、食料を届ける活動です。

食べることは、生きていく上でとても大切なことです。子どもたちにとっても、食べることは肉体的な成長を促すだけでなく、「食」に対する喜びや感動を得ることで感情が豊かになり心身の成長に繋がります。

ご家庭に食べずに保管したままになつている食品などがあれば、ぜひフードバンクへ寄付をお願いします。

●寄付できる食品

・缶詰や加工食品全般、米など

●寄付できない食品

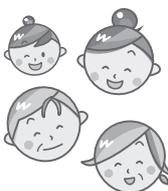
・生鮮食品
 ・賞味期限が切れているもの
 ・冷凍食品など

●問合せ先

市社協
 (23) 1130



各地区で
開催された
地域の皆さん
の笑顔が
いっぱい



8/5
(金)

茶話会
佐久山おもいやり隊

福原地区の高齢者を対象に、ふれあいの丘で茶話会を開催しました。ふくし共育（福祉教育）の一環として福原小学校の子どもたちが参加して、一緒にゲームやクイズに挑戦し楽しく交流しました。



4/9
(土)

のびき桜まつり
野崎地区見守り隊

野崎地区活性化協議会主催の「桜まつり」に参加し、見守り隊活動についてPRしました。



8/26
(金)

茶話会（浅野地区）
西部地区あつたか
思いやりの会



浅野地区の高齢者を対象に、浅野公民館で茶話会を開催しました。地域包括支援センターの認知症予防の講話と、国際医療福祉大学の学生が考えたゲームをしたりお茶を飲みながら話をしたり、楽しいひと時を過ごしました。

6/16
(木)

AED講習
東部地区見守り隊



見守り隊員が集まる推進会議に併せて、「救命講習」を東地区公民館で実施し、基本的なAEDの取り扱い方法を学びました。



9/24
(土)

ふれあい紫広場
紫塚地区社協
紫塚地区見守り隊

紫塚小学校を会場として、紫塚地区社協の「ふれあい紫広場」を開催しました。また、紫塚地区見守り隊は、活動PRのために参加しました。



7/26
(火)

認知症サポーター
養成講座
金田地区おもいやり隊

認知症への理解を高めるため、7月26日（金田南地区公民館）と10月25日（金田北地区公民館）の2つの会場で講座を行いました。



総隊長
本堂 敏雄

東部地区見守り隊

今後各地区的実情に応じ高齢者の方々が安心して安全に暮らせるよう、又各地区の皆さんと連携を密にし地区毎の茶話会等を開催しゲームや食事及びおしゃべりを通して時代に応じた、新たな関係や絆を結べるよう活動したいと思っております。どうか利用者の方々も安心して参加をして頂きますようお願い申し上げます。



総隊長
鈴木 作三

ゆづかみ見守り隊

見守り隊長紹介

第3弾

10/4 (火)

会食会

ちかその思いやり隊



親園地区の高齢者を対象に、親園地区公民館で会食会を開催しました。輪投げで体を動かした後、そば打ち名人の蜂巢耕平さんのおそばに舌鼓を打ちました。

10/6 (木)

救急救命講座

須賀川地区見守り隊



須賀川地区は救急車が到着するまで平均20分、最長30分かかります。救命活動として、応急手当、心肺蘇生法、AEDの使用方法について学びました。

10/15 (土)

手作り弁当を
持って訪問

湯津上地区社協



ひとり暮らし・高齢者世帯の方へ手作り弁当を毎月届けながら、安否確認やお話をしています。

10/30 (日)

くろばね秋祭り

両郷地区社協



給食ボランティアの方達が秋祭りに参加し、リサイクルショップで得た収入で毎年高齢者との交流会を開き、招待事業の活動費にしています。

10/21 (金)

認知症はいかに
声かけ訓練

川西地区見守り隊



安心してらせる地域づくりを目指して、日常で起きうる認知症の方への声掛け支援のしかたを体験し、参加者が当事者意識をもつことを目的に実施しました。

10/29 (土)

茶わ会

（北区・堀之内・南区西・東）
黒羽見守り助け合い隊



年3回地域ごとに茶わ会を、行っています。毎回盛り上げ隊の学生達が考案した、みーちゃん体操で盛り上がり、ゲームやお話に花を咲かせました。

今年で発足して3年目になる本隊ですが、隊員の皆様の熱心な取り組みによって日々充実した活動が展開され今日に至っております。年々高齢化率が高まる現状を踏まえ、更なる安心安全な地域社会を目指し、キャッチフレーズ「みんなが安心、みんなのりようごう」を念頭に、今後とも隊員一同心合わせて取り組んでいきたいと思っております。地域の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



総隊長

大宮司 肇

両郷地区見守り隊

本隊は「見守り」で「愛のあふれるまちづくり」を合い言葉に平成25年度に発足しました。見守り活動Q&Aの内容を理解し、495名の隊員が、人と人との絆を大切に日々活動しています。昨年度は、金銭的被害に遭った女性や自宅で非常に衰弱していた男性に対する隊員の適切な対応などが認められ「県警本部長表彰」を受けました。これからも賞に恥じぬよう、更なる啓発を図り、お互いに助け合い支え合う、より良い地域づくりに努めていきたいと思っております。

心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

みんなで集えば
楽しいよ！
～福祉ふれあいまつり～



10月15日、秋空のもと、市総合文化会館において「第19回大田原市福祉ふれあいまつり」が開催されました。

ホールでは、那須共育学園のバンド演奏、ふたば幼稚園の園児の歌と体操、両郷中央小学校児童の「農民道全一太鼓」など元気な演技に、たくさんの拍手と歓声が送られました。

また、福祉施設・団体の模擬店、福祉バザーが行われ、多くの方々で大盛況となりました。

市社協も赤い羽根共同募金活動を行い、たくさんのご協力をいただきました。ご参加いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

日	月	火	水	木	金	土
				12/1	2	3
				黒心配ごと 9時～正午	大心配ごと 9時～正午	
4	5	6	7	8	9	10
			湯心配ごと 9時～正午		大心配ごと 9時～正午	
11	12	13	14	15	16	17
				黒心配ごと 9時～正午	大心配ごと 9時～正午	
18	19	20	21	22	23	24
					天皇誕生日	
25	26	27	28	29	30	31
			御用納め			
1/1	2	3	4	5	6	7
元旦			御用初め	黒心配ごと 13～16時	大心配ごと 9時～正午	
8	9	10	11	12	13	14
	成人の日		湯心配ごと 9時～正午		大心配ごと 9時～正午	
15	16	17	18	19	20	21
				黒心配ごと 9時～正午	大心配ごと 9時～正午	
22	23	24	25	26	27	28
					大心配ごと 9時～正午	
29	30	31	2/1	2	3	4
			湯心配ごと 9時～正午	黒心配ごと 9時～正午	大心配ごと 9時～正午	
5	6	7	8	9	10	11
						生涯学習 フォーラム 建国記念の日

◆心配ごと相談

地区	会場	連絡先
大田原	市福祉センター	23-1130
湯津上	佐良土多目的交流センター	98-3715
黒羽	市社協黒羽支所	54-1849

※民生委員児童委員が相談に応じます。

◆ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。月～金曜日午前9時～午後5時（祝祭日、年末年始除く）場所：市社協本所

※人権相談・行政相談については、市広報紙・「大田原市ホームページ」(<http://www.city.ohkawara.tochigi.jp/>) をご覧ください。

あすてらす

「福祉サービスを利用したいけれど手続きの仕方が分からない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信がなくて相談したい。大切な書類の保管に不安がある。」毎日の暮らしの中にはいろいろな不安や疑問、判断に迷ってしまうことがたくさんあります。

あすてらすは、このような場合に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをします。

☎0287-23-7375
あすてらす おおたわら

ぼくらのまちのウォークラリー

ともに生きるまちづくりへの第一歩！

10月22日(土)ふれあいの丘にて



手をつないで輪になろうよ！



実行委員長
渡邊 大揮 さん

人が集まって一緒に行動するとき、自然と助け合いや支え合いが生まれる。そういった場面がたくさんみられたウォークラリーでした。

このウォークラリーがみなさんにとって、普段の暮らしの中で「**ともにいきるまちづくり**」を考えるきっかけとなり、「ともにいきる」姿勢が少しでも広まれば嬉しいです。

このウォークラリーは、市民による実行委員19名が約半年かけて企画をし、心を込めて準備を進めてきました。チェックポイントのクイズやゲームは、誰もが楽しめるようにと考えました。

子どもも高齢者も、ハンディのある人もない人も、みんな助け合いながら課題をクリアしていくことで、会場には笑顔が溢れました。みんなとっても仲良くなれましたね！



答えがわかったよ！



与一くんも来てくれました



みんなでゲームしよう！



チームぞろぞろゴール！

★参加者の感想より

- クイズがとても楽しくて、初対面のグループでしたが、仲良くなることができました。
- 人と人のかかわり合いの大切さを改めて感じる事ができました。地域の人のコミュニケーションを大切にしていきたいです。
- 子どもたちの良いところをたくさん発見できるとても素敵な機会だと思います。



絵手紙ボランティア「とんぼの会」

ボランティア
紹介コーナー

平成12年9月設立 会員数8人

国際医療福祉大学構内、障害者支援施設「サポートハウス那須」の入所者のみなさんに、リハビリの一環として楽しみながら絵手紙を描けるようサポートしています。



それぞれの個性が
光ります！

- ★いつ：月1回(第4木曜日)
午後1時30分～2時30分
- ★どこで：サポートハウス那須
- ★なにを：季節の画材を持ち寄り、入所者と
いっしょに絵手紙を描いています。



この日活動したみなさんです

★がんばっていること

一人ひとりのペースで支援したいけれど、会員人数が少ないため苦慮するところです。皆さんが作品を完成させ、喜んでくれることにやりがいを感じます。

★メンバーの声

一生懸命に描いている表情や姿を見ることで、私達も力を貰っています。

★みんなに伝えたいこと

いっしょに活動することで、心が通じ合う喜びを感じ、みんなに笑顔で会えるのが楽しみです。

だいすき



お知らせ

「ボランティア活動保険」の保険料が改定されます

平成29年度より、ボランティア活動保険の保険料が以下の通り改定されます。受付開始は2月下旬を予定しています。

		Aプラン	Bプラン
保険料	基本タイプ	300円 → 350円	450円 → 510円
	天災タイプ	430円 → 500円	650円 → 710円



ボランティア活動は「自分にできること」をしっかりと見きわめ、無理なく活動することが大切です！

ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本所】
浅香 3-3578-17
大田原市福祉センター内
☎ 23-1130・24-0294
FAX 23-1138

あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】
佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011

【黒羽支所】
黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745

大田原市
社会福祉協議会
介護事業所

市社協ホームページ URL <http://www.ohawara-shakyo.or.jp/>